

株式会社宇和島プロジェクト <http://www.project-u.jp/index.cgi>

「宇和海で育まれた養殖魚に付加価値を付けて米国、香港等へ輸出」

<事業者の概要>

1. 所在地：愛媛県宇和島市坂下津甲94-13
2. 代表者：代表取締役社長 木和田権一
3. 主な品目：みかんブリ、みかん鯛、宇和島サーモンなどの養殖魚、天然魚等
4. 主な輸出先国：米国、香港、中国、シンガポール、タイ、UAE、サウジアラビア等
5. 事業概要：2010年創業。宇和島市内の漁業者・養殖業者・卸・加工会社とネットワークを構築し、養殖魚や天然魚の生産・仕入及び鮮魚・水産加工品を販売している。



ドバイでの展示会



みかん鯛、みかんブリ

【輸出の取組内容】

- 地域資源である柑橘と養殖魚を組み合わせ「みかんブリ」、「みかん鯛」、「宇和島サーモン」の名称で各魚種をブランド化し、米国、香港、中国等へ輸出している。
- 2016年5月に養殖魚（マグロ、スマ）で国内初のハラール認証を会社一丸となって取得するとともに、2019年5月にはUAEのドバイに支店を開設し、中東への販売を拡大している。
- 商品への理解を深めてもらうため、海外バイヤーや輸出先国のシェフの視察を受け入れている。
- 水産物だけでなく、地域商社として地場産の野菜、果樹も取り扱い、輸出に取り組んでいる。

【取組経緯】

- 海外で新たに販路開拓することにより、生産者の所得向上に繋がるとして、創業当初から商社経由で米国へ持ち込み、ロサンゼルスで商談が成立した。
- アジア圏各国の展示会・商談会に出展。来場者から高い評価を得て、商談成立につながる。

【課題と対応方法】

- 顧客ニーズを満たす事業展開
→高い技術やノウハウを有する養殖事業者との連携の下、同社の加工場での加工から、流通までスピーディーに対応。
- ブリなど養殖魚の切り身の変色への対応
→チョコレートに含まれるカカオポリフェノールを与えることで血合いの変色を5日間抑える「チョコブリ」を開発。

【実績】

輸出額(億円)		輸出国割合(%)	
2016年	1.0	米国	23
2017年	1.0	香港	23
2018年	1.3	中国	15
		その他	39

【今後の事業展開】

- ✓ 今後はニッチ市場の開拓やドバイでの支店開設により、輸出先国や輸出量を増やし、輸出比率が売上高の3割に達するよう取り組む。
- ✓ 「地産地消」はもとより、新鮮な宇和海水産物を世界の食卓に届けるため「地産外商」を目指す。